

タマリハ木村先生に聞く!

タマリハ新聞

第3号
発行所
多摩リハビリテーション学院



一気に進路変更して言語聴覚士へ

駅で偶然、介護の仕事を知った

父親の影響もあり、工業系の高校を卒業し、就職も決まっていた。しかし卒業目前に迫った頃、駅で視覚障害者の方が倒れる場面に遭遇しました。突然何かに躓いて転んだように見えたので、すぐに救護室に連れていかなくては!と咄嗟に駆け寄りました。その際、対応してくれた駅員さんから「介護関係のお仕事ですか?何か資格をお持ちなのですか?」と聞かれ、はじめて介護系の仕事があることを知りました。

「障害がある方や倒れている人に接することに對して、特に抵抗もなく、特別なことをしている自覚もなく、何とかしてあげたい!という思いだけで動いていたように思います。元々、困っている人を見ると放っておけない性格なんです。」と話す木村先生。急遽、高校の先生に相談をし

て進路変更をしました。多摩リハビリテーション学院の健康福祉学科に入学し、さらにその後言語聴覚学科にて資格を取りました。

仕事では、患者様とケンカすることもありません。病状説明をする際に、「ことばが出にくい理由」、「食事の制限のお願い」などを伝えるが、指示通りに我慢してくれていたので、ご本人が納得出来ていないことに気づいていました。そのため、ご本人が納得出来ていないことに気づいていませんでした。その結果、患者様が耐えきれなくなり、「お前に自分の何がわかるのか!」と爆発してしまいました。この時「正直わからない!だから(どういう状況なのか)教えてほしい」と伝えたところ、徐々に打ち解けて、お互いに話が出来るようになりました。

教員になってから、他の先生方には独自の専門性があるが自分にはそれが無いと思い、コンプレックスを抱いた時期もありました。しかし、自分には出来ないこともあるかもしれないと思いつき、今は専門性を追求するために大学院に通い、頑張っています。



野球、バスケの経験があります。現在の趣味は庭いじりが好きで、日々のお世話で花木の成長を感じると幸せな気分になります。

好きな食べ物は、やはり高カロリーのものが好きです。ベルトの穴と相談しながら、寿司・天ぷら・焼肉など(笑)。

今熱中していることは、地域の言語聴覚療法の研究です。学校周辺(青梅市・福生市)の地域の高齢者の支援を始めています。

ゆくゆくは西多摩地区の健康寿命を東京都内、関東地区、全国区でNO.1にすることが、私の夢です!

「友人として接する」編集後記

木村先生はとてもシャイで優しい印象です。また人として魅力的であることが分かる、男らしい一面も見受けられます。「とにかく困っている人を見ると放っておけない」という基本的な優しい気質から、進路を一気に変更してしまうような意思の強さまでも感じられます。また、「患者様を友人として接する」という言葉からは、あくまでも垣根なく

一人として接したいという誠実な思いを感じました。普段は冗談や、自虐的なネタを話すなど、非常に気さくな方ですが、常に患者様を思う信念は人一倍強いような気がしました。最後に木村先生は「実は太りやすいんです。」と気になさっていました。その必要がないくらいスマートな先生です!

西の風新聞(7/5)に掲載されました!

福☆生き生きだよりに掲載されました!

「食べること、しゃべることは社会を築く」

紙面2~4頁 「口は健康の入り口」

福☆生き生きだより 2018夏号

紙面4頁「食べること、しゃべることは社会を築く」